

平成28年度当初予算について

大野城市長 井 本 卓 司



平成28年度の一般会計及び5つの特別会計、2つの企業会計を合計した当初予算総額は、588億528万4千円で、前年度に比べて2.4%、13億9千738万3千円の増となっております。このうち一般会計は、341億3千900万円で、前年度に比べて4.3%、14億1千900万円の増となり、平成24年度の334億800万円を超える過去最大の予算規模となりました。

平成28年度におきましては、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、子ども医療費助成制度の対象年齢拡大や保育所等入所者の保育料階層の細分化を行い、利用者負担額の一部を軽減する取り組みを進めてまいります。また、第5次大野城市総合計画後期基本計画に基づいた各種事業や、市民サービスの向上につながる事業など42の新規事業をはじめ、多くの施策・事業を実施することとしております。

市民の皆さんからお預かりした貴重な税金を無駄にすることのないよう、引き続き「選択と集中」、「先手（せんて）・先取（せんしゅ）の対応」を基本に、「今なすべき政策は、思い切って打つ」という信念のもと、堅実さと果敢さのバランスがとれた市政運営に努めてまいります。

このパンフレットは、大野城市の平成28年度当初予算を分かりやすく紹介するために作成したものです。市民の皆さんが、市政に対する理解を深めていただくため、また明日の大野城市を一緒に考えるための一助として活用していただければ幸いです。

このパンフレットは、大野城市の平成28年度当初予算を分かりやすく紹介するために作成したものです。市民の皆さんが、市政に対する理解を深めていただくため、また明日の大野城市を一緒に考えるための一助として活用していただければ幸いです。

各会計の予算総括

(単位:千円、%)

会 計 区 分		平成28年度 予 算 額	平成27年度 予 算 額	増減額	増減率
①	一般会計	34,139,000	32,720,000	1,419,000	4.3
②	国民健康保険特別会計	10,809,631	11,012,323	△ 202,692	△ 1.8
③	介護保険特別会計（保険事業勘定）	5,325,628	5,236,411	89,217	1.7
④	介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）	54,105	42,801	11,304	26.4
⑤	後期高齢者医療特別会計	1,128,804	1,150,257	△ 21,453	△ 1.9
⑥	公共用地先行取得事業特別会計	1	1	0	0.0
⑦	土地区画整理清算金特別会計	1,699	1,907	△ 208	△ 10.9
小 計 (A)		51,458,868	50,163,700	1,295,168	2.6
⑧	水道事業会計				
	収入	2,450,813	2,401,862	48,951	2.0
	支出 (B)	3,144,639	3,095,221	49,418	1.6
⑨	下水道事業会計				
	収入	3,665,557	3,508,899	156,658	4.5
	支出 (C)	4,201,777	4,148,980	52,797	1.3
全会計合計 (A) + (B) + (C)		58,805,284	57,407,901	1,397,383	2.4

用語解説	予算 1年間の収入(歳入)と支出(歳出)の計画です。予算を見れば、市民の皆さんが納める税金などが、どのような事業にいくら使われるのかが分かります。	特別会計 国民健康保険や介護保険のように特定の収入で、特定の事業を行う場合などに設ける会計です。大野城市には現在5会計(国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療、公共用地先行取得事業、土地区画整理清算金)があります。
	歳入・歳出 会計年度(4月から翌年3月までの期間)内の収入・支出のことです。	企業会計 民間企業のように、利用料金などの収益で運営している会計です。大野城市には現在2会計(水道事業、下水道事業)があります。
	一般会計 福祉や教育、道路整備など、行政の基本的な事業の会計(予算の中心)です。	